



AbemaTV 広告 入稿動画 技術ガイド

2020.2.5

AbemaTV開発本部

コンテンツエンジニアリンググループ



適合処置(必須)

- ① インターレース解除
- ② フレームレート最適化
- ③ ノンモンの挿入
- ④ ラウドネスの適合
- ⑤ 完全尺でのファイル出力



詳細解説

① インターレース解除

AbemaTVではTV(地デジ)納品用のフォーマットは受け付けておりません。

その最たる理由がインターレースの問題です。

インターレースとはなにか、どうすれば適切処置できるかをまとめました。

ご参照の上、入稿素材に対して事前に処置を施してください。

次項より、Premiere Proでの確認・処置方法をご紹介します。

インターレースが残っている
素材

動きの激しい部分で
櫛の歯のように走査線が出ている状態
AbemaTVではこのままでは配信できない

00:02:45:11

100 %

編集ソフト・プレイヤーで再生時の拡大倍率は 100%がオススメです

フル画面 00:35:13:18

インターレースが残っている 素材

動いている部分では走査線の筋が目立ち
静止している部分で目立たないので
気をつけましょう。

00:19:12:0

100%

フル画面 00:35:13:18



手順①

読み込んだ
クリップを
右クリックします

元素材に応じたシーケンスが自動的に作成されます

手順②

プログラムモニター上で右クリックし
“フィールド”→“両方のフィールドを表示”
を選択します。

- リソット
- 油に
- インをマーク
- アウトをマーク
- クリップをマーク
- 選択項目をマーク
- インへ移動
- アウトへ移動
- インを消去
- アウトを消去
- イン/アウトを逆変換
- マーカーを追加
- 次のマーカーへ移動
- 前のマーカーへ移動
- 選択したマーカーを消去
- すべてのマーカーを消去
- マーカーを編集...
- チャプターマーカーを追加...
- 1:15:00 -> マーカーを追加!
- フィールド ▶
- 再生時の解像度
- 一時停止時の解像度
- 画品質再生
- オーディオ ▶
- VR ビデオ
- アンビニックスをモニター
- 複製 ▶
- セーフマージン
- オーバーレイ
- マルチメディアのオーディオを使用
- マルチカメラ画素ストリダグ
- ✓ マルチカメラプレビューにリンクを表示



インターレースが目視確認できるようになりました。

00:02:45:18

100 %

フル画面

00:35:19:18

手順③

フィールドオプション

☐ 優先フィールドの入れ替え

処理オプション

- ☐ なし
☐ 常にインターレースを解除
☒ ちらつき削除

キャンセル

OK

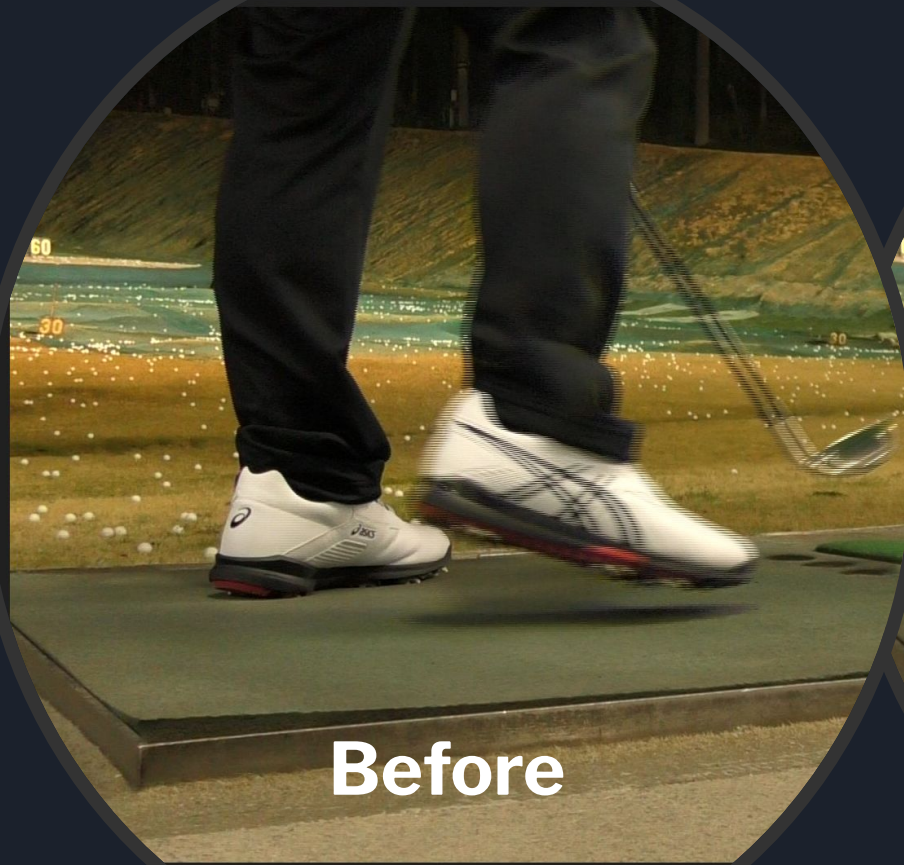
タイムライン上のクリップを右クリックして
“フィールドオプション”を選択します

出現したポップアップウィンドウから
“ちらつき削除”を選択します。

拡大表示



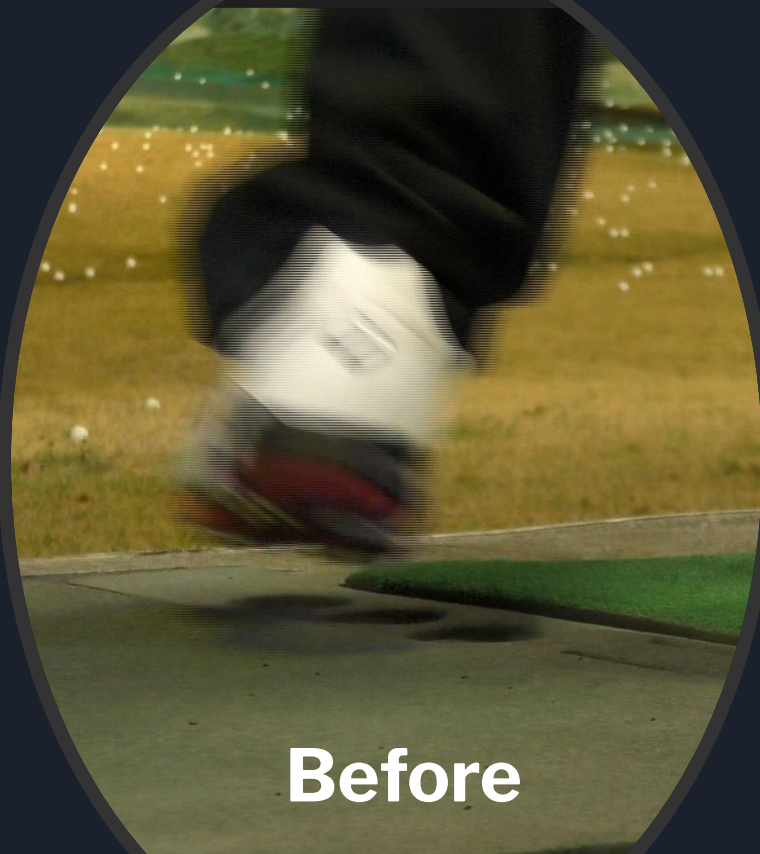
“ちらつき削除”適用により
上下のフィールドがブレンドされ
滑らかな輪郭になりました。



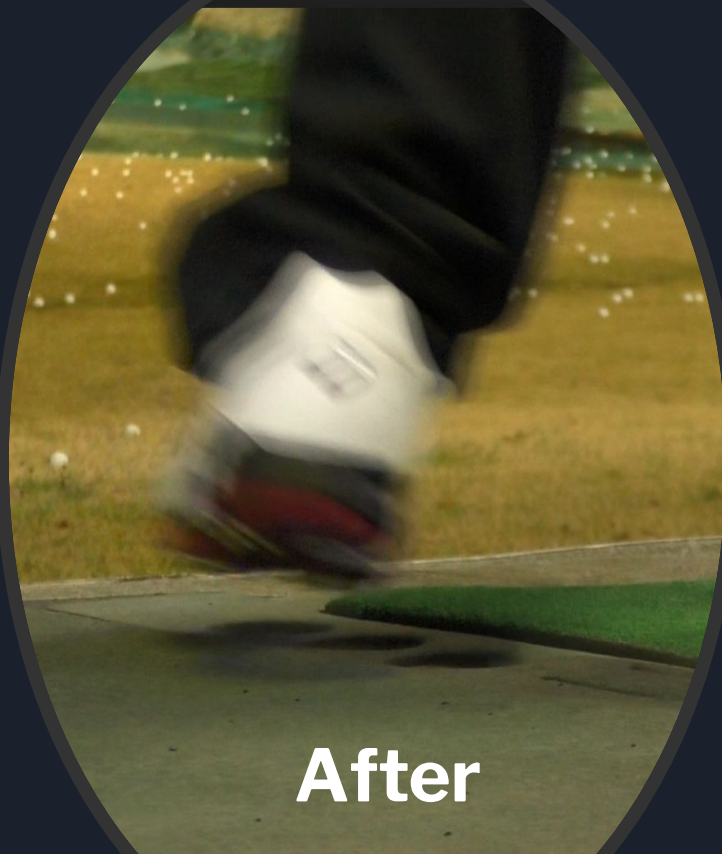
Before



After



Before



After



詳細解説

② フレームレートの最適化

AbemaTVの広告動画においては、想定フレームレートは**29.97fps**です。

ファイルの尺については、この29.97fpsを基準に何秒に見えるか、が重要です。

最近ではネット媒体への出向が優先された結果**23.976fps(いわゆる24コマ)**で制作・出力される動画も増えてきています。

このFPSで入稿の場合、
配信データとしてのAbemaTVの許容値を超えて尺が変化する場合があります。

配信事故予防のため、ファイル差し戻しとなる場合がございます。

Media Infoなどのフリーソフトでご確認ください。

フレームレートの厳密化にご協力ください

- 完パケ書き出し後に Media Infoなどでご確認の上、以下のような分数表記であることをご確認ください

- OKパターン

- 29.97fps = 30000/1001 かつ Constant Frame Rate

- NGパターン

- 59.94fps = 59940/1000 5994/100 など
- 29.97fps = 29970/1000 2997/100 など
- 23.976fps = 23976/1000 など
- Variable Frame Rateのものは入稿不可

※TMPEGEncやフリーソフトを使用した書き出しは
NGパターンになる恐れが高いため禁止とさせていただきます。

Video	
ID :	1
Format :	ProRes
Format version :	Version 0
Format profile :	422 HQ
Codec ID :	apch
Duration :	14 min 40 s
Bit rate mode :	Variable
Bit rate :	174 Mb/s
Width :	1 920 pixels
Clean aperture width :	1 888 pixels
Height :	1 080 pixels
Clean aperture height :	1 062 pixels
Display aspect ratio :	16:9
Clean aperture display aspect ratio :	16:9
Frame rate mode :	Constant
Frame rate :	23.976 (23976/1000) FPS
Color space :	YUV
Chroma subsampling :	4:2:2
Scan type :	Progressive
Bits/(Pixel*Frame) :	3.497
Stream size :	17.8 GiB (99%)
Title :	Apple ビデオ・メディアハンドラ / Apple エイリアス・データハンドラ
Writing library :	Apple
Language :	English
Encoded date :	UTC 2019-04-19 11:54:20
Tagged date :	UTC 2019-04-19 12:14:28
Color primaries :	BT.709
Transfer characteristics :	BT.709
Matrix coefficients :	BT.709

分母が1001以外は
NGとなります

Variable Frame Rate は入稿不可



詳細解説

③ ノンモンの挿入

CM制作では必ず前後に15フレームの無音部(ノンモン)を設けます。
しかしながらインターネット動画の世界では、
編集・変換の不備によりノンモンの付与を忘れているケースが散見されます。
確実な音声の再生のためにノンモンの付与にご協力ください。

次項に概念図を示します。

ノンモンとは、本篇の冒頭と末尾に挿入する、0.5秒の無音部分です。ノンモンを確保できていない素材の入稿はできません。
入稿前に、映像編集もしくは音声編集アプリケーションにて、必ず音声波形を確認してください。



AbemaTV C.I. (サウンドロゴ)は、
ノンモン有りで作成していますので、
そのままお使い頂けます。



(例) 15秒の場合



(例) 30秒の場合



詳細解説

④ ラウドネスの適合

TVオンエア基準とは異なるラウドネス規定となっております。
入稿時にはAbemaTV基準への事前適合をお願いしております。

TVオンエア基準 $-24\text{LUFS} \pm 1\text{LU}$

AbemaTV基準 $-18\text{LUFS} \pm 1\text{LU}$ モバイル視聴を優先考慮



ラウドネス調整の基礎

編集ソフトからの書き出し時にTU-R.BT1770-3以降のアルゴリズムを適用し、ターゲットを-18LUFSに設定してください。

基本的にはリニア振幅を前提とし、実際には
”ラウドネス差分を利用したノーマライズ処理になるように制御してください。

フリーソフト等による安直な音量上げは品質低下のもとになるため、ご注意ください。

ProTools/Nuendo/AdobeAuditionなどの編集ソフトでの事前適合を推奨いたします。

AbemaTVと協業関係にある制作組織には、自動変換・適合ツールの配給が可能です。
弊社担当営業までお問い合わせください。

入稿規定の音声部分をフォーカス

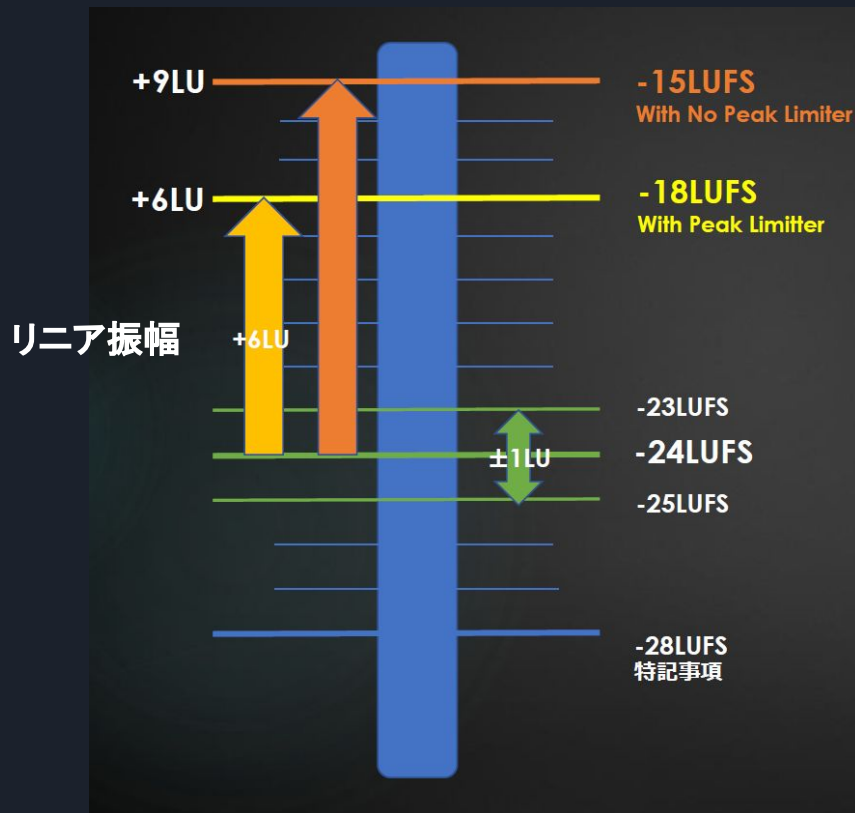
音声チャンネルタイプ	Stereo 2ch	※マルチチャンネル音声には対応していません。
音声コーデック	AAC-LC	
音声ビットレート	320kbps	
音声ビット深度・サンプリング周波数	16bit/48 kHz	
音声ピーク値	-3dBFS 以下	※この値をオーバーすると音割れにつながりますのでご注意ください。
音声平均ラウドネス値	-18.0LUFS±1LU	※AbemaTVでは独自のラウドネス基準を設けております。TV-OA基準より厳格です。

極力、この範囲に収めるようにお願いします。

PremiereCCの書き出し時にオプション機能を使って処理することをオススメします。

わずかな誤差はAbemaTV側で対応可能なケースがあるので、お問い合わせください。

音声波形のイメージ



新AbemaTV基準



OA基準

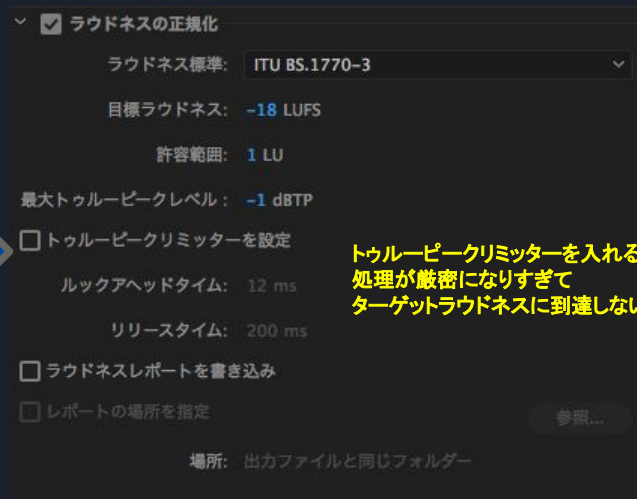


PremiereCCおよびAdobe Media Encoder による補正書き出し

- AdobeCCの編集シーケンスから書き出し画面に移動します。
- <書き出し設定>でH.264を選んで、下方の<エフェクト>タブに移動します。



拡大

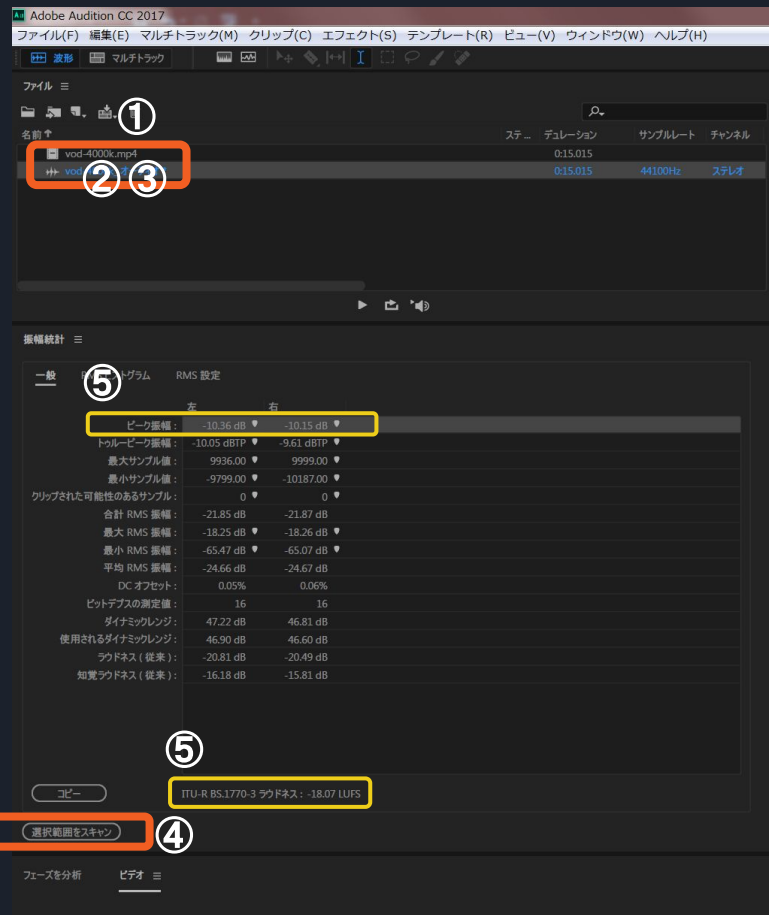


トゥルーピークリミッターを入れると
処理が厳密になりすぎて
ターゲットラウドネスに到達しない場合があります。

結果確認

- ①Adobe Auditionを起動
- ②MP4ファイルを投入(音声抽出されます)
- ③音声をダブルクリックして
- ④＜選択範囲をスキャン＞を実行
- ⑤表示された統計情報から二箇所を確認
念のため波形自体も目視確認してください。

**ギリギリ規定内に収まらなかった場合は
お問い合わせください。**

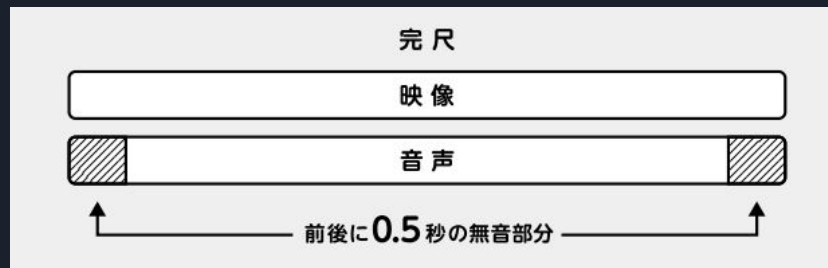


配信を想定したより安全な音声波形イメージ



詳細解説

⑤ 完全尺での出力



ここでいう完全尺とは、
”配信に必要な部分の IN点OUT点 が確定し余計な部分がない状態 ”
を指します。

ノンモン部分は完全尺に含まれなければなりません。

TV用の納品パッケージに求められる前後の静止部分 (のりしろ)は不要です。

余計な部分が残っている素材は、差し戻し対象となります。